

みずつき

mizutsuki
2025

13

「水」がテーマのアンソロジー

2025年初夏
「水」がテーマのアンソロジー

みずつき 13

発行：2025.06.09
短歌：ご寄稿くださった皆様
企画・編集・装丁：千原こはぎ
<http://kohagiuta.com/>

みずつき

mizutsuki
2025

13

みずつき

「水」がテーマのアンソロジー

2025

ご参加
いただいた
みなさん (五十音順)

伊豆みつ	@confeito57577	橋高なつめ	@coconutkiko
稲井亮太	@3404_g_	木ノ宮むじな	@rebelxduck
岩瀬百	@momo_iwase	香子	@kyoko_shogi
宇井モナシ	@kijousan	桐野黎	@Tower1710
宇祖田都子	@shimsyutu2020	久保田毒虫	@dokumu44
泳二	@ejishimada	クラゲノオト	@mjwgtmw
枝豆みどり	@edaname_midori	小泉夜雨	@kozumi_yau
小仲翠太	@OnakaSuiTanka	骨盤矯正	@Kotubann_K
小野小乃々	@aurora_konono	今哀子	@3156AIKO
歌島孟	@Sinn1990	サ行	@Ns4HhpKEA10870
かつういす	@v_VTitiu	桜ぐう	@wJ59f8NwfuJvq3
袴左右	@AUqvBjbgZR88sM	サクラユヰノ	@mtf_sakura
神洲橋	@kamisubash33489	澤山凜	@utaphobia_rin
涸れ井戸	@karonjiye	さんそ	@Kani_Hitsuji
桔梗	@8GtoB0WwJG41128	Sand Pawns	@alen_ires
北谷雪	@kiaya_misomiso	西鎮	@xi_zhen_ivUT
雨宮雨霧	@Amamiyaamaki		
新井きわ	@kiwawawa0420		
有村桔梗	@chattenoire_k		
淡島けのび	@ktdmoni		
井倉りつ	@uta_litz		
一色凛夏	@88rinin23		
麻数	@unbehemp		
雨声	@amagoe931854		

藍色の風景

雨粒を数えて待つね 約束のアガパンサスの花が咲く頃
たましいが触れあうひとに連れられてプリズムみたいな雨を歩いた
あと少しもう少しだけそばにいて波が小指を濡らすときまで
木洩れ日と樹雨浴び抜け坂道に ここで地終わり海が始まる
三日目の雨は眩暈とともに降る 目覚めることも思ひ出さずに
石畳 アウフタクトに響く雨 Watercolor Landscape

Rhythm @numberlock_k

虹を掴もう

本当に七色なのか知りたくて虹の真下で指し棒を持つ
職場では絶壁の上に椅子があり心に降るは青さめる雨
恋ならば淡きものから始まって赤く染めてく大きな弧、描く
とはいえど私のそばに君はいず心に雨はまだ降り続く
水色で描いてた雨が透明と知った私はつまらぬ大人
雨後の虹。それは希望の象徴で望み眺めてそして掴もう

りんか @love_kei_ina

きみが魚でも星でも

魚心なんて問わないきみといて一番泳げる水でありたい
水瓶と魚は空でも並んで私たちだと言ってみたくて
本当に水と魚なら良かったなきみはどこでも輝ける星
大切なものは見えないならきみの薔薇じゃなくって井戸になろうか
白河の清さだなんて無理だから少し濁ってきみを待ってる
月はもう映らないけど旅好きなきみにいつでも見つかる水だ

ルオ @ruo129

夜の底、夢

モニターに 揺らめく君の言の葉に 透ける孤独は同じ海の底
夢のなか 迷子の果てに目が覚める シャワーで流す夜の残骸
星の月 グラスの中に予感溶け すこし不幸なぼくが尊い
通り雨 空回りして傘回し 君を想ってレモネードを飲む
水たまり 映った君が楽しそう それが何よりぼくのしあわせ
夜の底 同じ夢よりその先へ 湯船の中で生まれ変わって

和叶眠隣 @mint_wakana

雨が笑ふ

どしやぶりの雨に飛び込んだだけなのに雨は子供を返してくれない
水を四角く切つたらところてんとなり透明な蜜かけていただく
雨をもつと降らせてください紫陽花が乾いた花になつてしまふ
いつまで経つても車の芳香剤 香水になど昇格出来ぬ

雨が夜だつた？ 夜が雨だつた？ 君の存在消すのに充分
さしかけられた傘の不意打ち不意打ちのついでに貰ふ缶コーヒー

村田 一広 @mucci2022

山川 築 @Wonderful_Maze

蛩と

よこれてもこの世をきつといきのびて岸辺にひたす紺のプリーツ
水鏡あなたのようなたしにはわたしのようなたをかせね
ことばからさいしよにこぼれおちてくる手帳の栞紐が濡れても
みずうみにねじ巻くようなさびしさの台風がきて耳へとどまる
いつせいに噴水が立ち伝わりとおもわないうからこそ言えたこと
こころには苦いけれどもときどきはおとずれて灯らせる蛩と

杜崎 アオ @morisaki_ao

母ちゃんはゆつくりお風呂に入りたいケンカしないで！あとお静かに！
浴そうで泳ぐ次男よなぜ君は「お風呂イヤだ！」と叫んでたんだい？
何歳まで一緒にいる？入らなくなる日が急に来そうで怖い
温泉はもう一緒にには入れないいつも一緒に終わるさみしさ
乾かせば次々と床に降る髪を集める悲しさ頑張れ頭皮
丁寧私の白髪を探す夫 私たち昔猿だったよね

悠佳里 @yukari_rito

けだるさ

わたつみの面のみなるかがやきを若く死にたる人と思へり
手に汲みて水道水を飲み干せりわれこそわれの全き奈落
溜池にずたずたの作業着しづみらうたし漆しづかに熟し
失望が希望に戻るけだるさよ水中の立体駐車場
混濁の川治ひを民家の光煌煌と若干名の犠牲者
転寝に昼の水こそ傷を負へ混声合唱の乱反射

ぎゅうぎゅうづめのお風呂

空似ほうろ @hole46thow 笛地静恵 @YmckrfjEzgwq
たえなかず @suzusuzuz2009 福山桃歌 @momoka_fukuyama
多香子 古井 朔 @saku_furui
たかな @takanaz_21 古井久茂 @fuldom
橘 まゆ まゆ ちゅ @DubgyKCZM25819
千原こはぎ @kohagi_tw まつちかゆう @yumatsu
中村成志 @nakam8 御杀さち @MEATsachi
夏野ネコ @natsuneko2000 深影コトハ @cotoha_mikage
菜々瀬くく @nanasefuku57577 水上歌眠 @kamin_plz
橘原もか @kiharanecko 瑞野明青 @inonagapenchan
西淳子 @jacky24Ray 水野惑 @madoimizuno
パイン井 @pine_ji 南の島 @_nrkmm
薄荷。 @aie0himeco 南瑠夏 @blue_rebels
原 沙良葉 みや 水也 @m_iva_o
稗田白湯 @sa_you_tanka_ 宮嶋つづく @miyazima_izq
非常ドラット @hijyouguchi_dot みやや @miyaya_tanka

村田 一広 @mucci2022
杜崎 アオ @morisaki_ao
山川 築 @Wonderful_Maze
悠佳里 @yukari_rito
りんか @love_kei_ina
ルオ @ruo129
和叶眠隣 @mint_wakana

名80+

たくさんのおき加
ありがとうございます！

死んでも雨

今ならばどんな音でもバレないし死ぬならどうぞみたいな豪雨
叫びたい事はあるけどさっき見た海には既に叫び待ちの列
この雨にもおそろく名前がある様に濡れた僕にも名前を下さい
「こっちは来ちゃダメだよ！」が届くくらい三途の川が細かったなら
黄の文字があるから妙に気になって黄泉にはウェットスーツあります？
無理な事願わないから次死んだら、雨になりたいダメ？神様

麻数 @umberhemp

秘密

夏雲の水族館こそ悲しけれ墓標のゆらぎ陽炎に似る
火星での花に水やり「あなたの散ったとこ見たい」お前が散れ
雪花融け父の告白甦る胸のハンドル握る手記憶す
疑問符が必要だった抜け出せない熱帯雨林みたいな思考回路
部屋の煙 煙雨立ち込め流れ読む行方追う目に風向きを見る
悪い体液吐き出す淀み濁るあらゆる色を掛け合わせてもでない

雨声 @amagoe931854

まだ海を見たことがない人たちへ

泳げない子だけを集めた学校のプールの空は高く狭い
キリストが死んだ年で母になる 身体の中に海は作られ
三人で暮らしているのに人生でいちばん孤独な六月に居る
母親になって最初の夏なのに海がこんなに遠いだなんて
スニーカー 洗濯槽に沈めつつ思ういつかはみんな死ぬこと
こども用プールの海を進む船 いつか世界よわたしを赦せ

南瑠夏 @blue_rebels

放課後、図書室

炭酸の弾けたる音きみの手をとる理由になりはしないかと
お願いって言ってみただけ もう空は紫に染まりゆく知らせ
濡れた手でさわれないからばらばらとページをめくる指を見ている
かきあげた髪の下できらめく青 似合わない汗 耳をふさいで
渦巻いて排水口へ流れ落ちぼくの心も持っていたら
まっすぐな視線がとろけひとたらし破裂しそうな心臓を抱く

水也 @m_lja_o

いつか雨は上がる

雨の降る団地に響く軋む音ゆっくり幕を下ろした夜中
目を瞑り耳を澄ませて雨音のひとつひとつを形に変える
打ち付けるような雨から身を守るように小さく丸まる君と
抱きしめた鼓動は早く雨脚も強まっていく夜明けの前に
雨音のリズムで胸をトントンと叩けば少し寝られるのかな
雨上がりがりと光る朝焼けの空が映った潦越え

雨宮雨霧 @Amamiyaamaki

涙のフォルム

空豆は胎児のごとく熟睡せり 茹でられてもああ涙のフォルム
赤らひく子は居りませぬと言ふときに洞もつ樹として雨を観てみた
子を産めぬ身体は雨を弾きたりをん泣くなをんなの輪郭
傘叩く激しき雨より聴きたきは狂ふほど鳴るあゝアヴェ・マリア
持て余すころ一つを身に沈め湯船に浸れば母が溢れる
線路へといま飛び込めば楽になる わかつてるけど川の石切り

新井きわ @kiwawawa0420

水の都に雨が降る 参

着々と雨にも負けず伸びてゆく建設中のタワーマンション
気がつけば逢えなくなった雨の夜の柳の下の白い婦人よ
かたちあるものもかたちなき霊も一雨ごとに色褪せる街
紫陽花の青から赤に変わりゆく見だし得るか希望の兆し
白妙のヒトツバタゴの傘揺らす梅雨の松江のしとやかな風
水無月の水の都に雨が降る やさしくなれる時 またいづれ

宮嶋いつく @miyazima_izq

六月初旬、実家にて

突然の雨が聞こえて家中の窓を開けたらソファに戻る
広い風呂ふろいひろってつぶやいて実家と虚家を比べてみたり
濡れ髪のまま聞いているリスニング教材のなめらかな発音
真夜中の静かな雨を聞きながら眠りに落ちるまでの数分
ネーブルは緑の小さな実をつけて昨日の雨が朝陽に光る
お決まりの挨拶だなど思いつつ梅雨明けみたいと言いつけている

みやや @miyaya_tanka

水の遺伝子

眼球はほとんど水でできてるの。ときどき海に会わせてやって水母とは水ではなくて雲母とは雲ではなくて母さん、どこへ栈橋ではあなたを撮ったはずなのに今は水面だけが輝く循環の旅路にあつてこの水はるかショパンの聴いた雨だれ白鷺をいつかの手紙と間違える 生きてて悪いわけがあるかよ雨の日は天使も濡れていてほしい。小さなバケツで筆を洗った

水上歌眠 @kanin_plz

ぶかぶかごとごと

海月だけしめる水面は息苦し笑顔のできぬ仮面のすがた石へとび川を渡ろう足がでず立ち止まるときカモが見ていた静かなる音の聞こえぬ沢からのカニはひかれて風に飛ばされ下りきれ急流からの船ならば岩をかすめて水砕けちるちりと消え見えなくなりし夢のこと書き並べてた言葉はどこへ水盤に月をうつして占えば君への思い恋ではなくて

瑞野明青 @inonagapenchan

雪の国

からつぽの香水瓶を窓ぎばに首級のやうに並べてあたりはつなつの畦道ゆけばどこまでもみづびたしなるあをぞらひかる冬の日のきみの手紙の消印に雪の匂ひをたしかめてゐるひとひらの言葉のおもさを知つてゐる雪の降りつむ国に生まれてまたひとつだれかの夢を呑みこんであざらしくなるあぢさゐの色あぢさゐにたましひやどると思ふまで夏の雨ふる夜を見てゐつ

有村桔梗 @chattenoire_k

あ（な）たうしく

二次元の線分として降る雨が象つたあなたが思うあなたの形傘立ては忘却の島 旅立ちに傘を手渡す先生の眉何もない日曜午後の憂鬱を打つマーブルの道路 記憶の、あまりにもそれらしく流れ着く羊の歌のその先のわたしの丘であなは眠る弾けてもシャボンをじつと見つめてた 脳に心はあるんだろうかあまりにも美しい雨 終わりがたくないって泣いた友達がいる

淡島けのび @ktdmomi

私と水

清き水を求めて野を駆け巡り希望の形に戸惑う輩今日の辛苦を洗い流し来たる明日のために乾きを潤す雨音が私に教えてくれる人の喧騒人工雨音水筒に詰めた水道水コンビニ水より気持ち優しい味冷水・常温水・お湯みんな違ってみんな大好き私はね私の星から旅立つた水は地球で惑いまた会いに来るの

水野惑 @madolimizuno

小さなせかい

手放して泉の底に沈んでくコインわたしの人生します海みたい海みたいいつも言う君が光って琵琶湖が笑う大富豪スマブラみんなでした後の「カレー食べたら水無月あるで」君と待つブルー剥がれたペディキュアもどこの州の形をしてるかぎりない空と海星かげのうつくしさ風呂場に響く小さなせかい今日抜ける運命の髪に強いシャワー排水溝の向こうは明日

南の島 @_nkmm

ウニに生まれ変わりたい君を飼うために

うす暗い四角い部屋に閉じこもる酒びたりさん、ストゼロの海生きたくない、終わらせたいが口ぐせの死にたがりさん、抱えてる毒病みは闇、指でつくくとゲトゲでなんか刺さって血とか出ちゃって現世でもそんな変わらなさそうだけど来世はウニになりたいと言うふたりしてウニだと抱きしめあえないしわたし水槽用意しとくね海水に住めば涙はバレないし、どんな君でも面倒みるよ

井倉りつ @uta_liliz

雨の打つ音

洗顔の泡が蛇口に滴って錆びる昔のわたしの掬濡れたって構わないのに霧雨の駅前ちゃんと傘さしている生活が身体に馴染んでく、たぶん、やかに水を、火にかけてゆく晴れやかな写真フォルダを閉じてふと外に目をやる すごい夕立逆光と思ったとたん濃い影で泣いてもあなたにわからないリビングの窓に打つ雨聴きながらここでは眠る目が覚めるまで

一色凜夏 @88rinin23

あめやみあめやみ

けれど、とアウフタクトにはじまつて夜風は雨をわづかに含む
曖昧さ回避させない紫陽花のあなたの頬に糸がくきらきら
きよらかな曇天を学生が飲む Lサイズ、お砂糖は入れずに
お弁当ばかりか傘もわずきてあめやみあめやみあやしてごらん
カフェインのお世話になつて見上ぐれば虹のひとつもなき天の原
暮らしとはその日を暮れさせることと、あなたは降つて止みてまた降る

伊豆みつ @confeto57577

水没

大鍋で暴れるパスタ苦しそう溺れた海の塩で茹でてる
汚すなよ捨てる言葉で君だけの内を流れる一級河川
水で言うとうえるわかめに着想を得て作られた映画グレムリン
増水した川の流れに投げた石 宝物だよってくれた石
まだ出ない？ 湯船に潜り聞いた声まだ出たくない産まれたくない
いつまでも心配される孫として水没した町みたいに笑う

稲井亮太 @3404_9-

水の惑星で生きてゆく

水槽を飛び出したなら死ぬだけの魚おまえはそれでいいのか
いつの日か月に移住をした時のために続ける水中ウォーク
透明なゼリーの海に閉じ込めたあの夏はまだ夏のまんまだ
はかなげに腕にただよう岩のりのまだ忘れ得ぬふるさとの海
春の浜青き光を放ち咲くホタルイカは夜のネモフィラ
寄せ返す波の呼吸に同調し我も地球の水の一部と

まつき @DubgVKCZm25819

雨はやまない

空つばのコップに残るきみの手に重ねてみたけど少し大きくて
一日に二リットル飲めと言われた夏休みの向日葵みたいだ
透明な僕がどこから生まれるかわからないから泣いているんだよ
髪の毛を洗うついでに背後の幽霊を美化してみるのでもいい
軒先のきみと梅雨空交互にみているだけでいいそれだけでいい
味のない炭酸が痛い今日もきみはいないし雨はやまない

まつなかゆう @_yumatsu

水とつきあう LOVE WATER TENDER

食道を水が通つてわたしには見えないわたしの内側へ行く
つきあうとしたら無神経な水 優しいところもあるのだけれど
妄執の Love 水、わたしの半分は既に水だと知ってはいても
水が好き Love Water tender 水が好き 優しい他人より水が好き
水を揺く あなたの思う優しさは隙間を決して許しはしない
水温む夢でようやく人間の言葉を持った水とつきあう

岩瀬百 @momo_iwase

浮き輪に素足

波音は海の鼓動のようできて風と嵐を繰り返してる
手作りのアクアリウムに沈めてく今日言わなかった悪口だとか
浮き輪から海を覗けば僕だけの舷窓に映るあなたの素足
水面に気泡はいつも多く反省会かイルカショー後の
混み合ったカフェテリアにヘミングウェイ一機置いて場所取りをする
舌先でブルーハワイは溶かされて海の匂いをさせずに消えた

宇井モナ @kijousan

半日陰

収集日近いから集めて回る家中の傘、まだ濡れている
いぬのきもちねこのきもち花瓶のきもち 最新号からあふれだす水
煮崩れた箇所から味が染みていく 本性を知りたくて揺さぶる
泣いていい免許がなくてデイベアみたいに壁にもたれかかって
どうしよう耳から海が止まらない貝殻なんて持っていないのに
窓際にテーブルヤシの鉢置いて与えすぎてもだめだったのね

御糸さち @MEATsachi

水鏡ザッピング

悪い夢から覚めて白湯 生きている人を見たくてテレビを点ける
歯磨き粉のにおいの口でマジョリティの思想ばかりを唱えないでよ
何もかも迷子にさせる驟雨きてWiFiは愛を探し続ける
土踏まずよごして生きる 浄水で育てたパキラの鉢を抱えて
朝露はガードレールに花束に KEEP OUT を外す人の手に
梅雨明けをザッピングするように踏む水鏡 私はわたしが嫌い

深影コトハ @cotoha_mikage

ハッピー・ファミリーズ

ハッピーな家族の庭に水色の毒草は咲くおしあわせにね
上様の領収証を金さんへ八百八町どしやぶりの土砂
大型車路地の狭さも気にせずに傲然とゆけカーナビのまま
古池のあとのマンション傾けりスイレンひとつムラサキの蝶
ミドリガメ金魚村から革新をグローバル化の世界ですから
滅亡の家族九件古墳跡 実話ですから場所は水底

笛地 静恵 @YmC6rhEZgWq

水は低きに流れ

しけている導火線には点かない火だったはずなのになんでこんなに
熱された小さな庭に撒く水は一瞬で生ぬるく茹だつて
あの夏の蟬は長めに鳴いていたことをぼんやり思い出しては
かさついた手の甲を這う血管の青さ変わらぬことの尊さ
酔い浸る視線を交わす二十二時ただぬくもりと眠りたいだけ
越えるべき夜はもうない青春は汗と涙とあなたの匂い

福山 桃歌 @momoka_fukuyama

雨、または生涯替わることのない水を蓄えておく内臓

ペンギンとクラゲを買ったのはつなつの水族館で見たすごい水
人通り絶えた真昼の軒先に鹽の水面大きく揺れて
河馬の渡河その足裏が川底を離れるときのまばたき飛沫
雨の日のうさぎを守るためならば耳と尻尾を傘に変えよう
水換えるときも逃げない十姉妹流さなかつた涙の重さ
真夜中を舐めとるように水を飲む小さな猫の舌のざらざら

宇祖田 都子 @shinnsyutu2020

雨あがりの僕うに

降ってる？と小さな声で聞くきみに小さな声で嘘を教える
冷凍のビザ頬張って僕らには関係のないニュースばかりだ
Oh 雨上がりの僕らに輝く冷蔵庫にはビールとプリン
ここは何も消えないし何も生まれない世界はほとんどが水たまり
明日はまた雨になるってきつとまたおもちやはずぐに壊れてしまう
上弦の月ほんとうに小さくて二人で見ないふりをしていた

泳二 @Eishimada

ひょうひょう
森 森

海沿いのコンビニナートに生息す赤きキリンの天気雨
雨粒のひとつひとつに宿りしも見つけがたきはレゾンデートル
たまにしかくれなくてもいい愛も水も多肉植物育てるように
ひいやりと花唇と水面はくちづけを流れつづける水は腐らず
零れ落つ最後に触れし薄紅の水面にゆれる人魚の鱗
森森たる記憶の海に絶え間なく通り過ぎゆくイルカの大群

古井 朔 @saku_furui

雨の味

雨水を集めてかけるだけで育てるサツマイモ若葉おひたし
サワガニとワサビを食べるイノシシは柵を壊して罌を飛び越え
竹管を塩ビパイプに取り換えて谷の畑の蛇口に繋ぐ
雨漏りを舐めるアナグマ 運動の後はみんなで肉を食べよう
足を嘔む虫に起こされまだ夜でトイレの前に川で水汲み
久方の雨と霞は違うのか？ ぼくらはたぶん既に仙人

古井 久茂 @fulidom

満たして

おとうとのいつも少し飲み残す水 一輪挿しにつぎ足してゆく
ふりいじあ ありとあらゆる理不尽を咲かせて花にしてみせましよう
どの花もQRコードに置き換えてしまえば永遠に美しいです
飲み終えた瓶へと水を流し込みその水も飲むあまざず奪う
一輪挿しの水の減りかた緩くなり花の命の終わりそうなこと
がらんどろ ときおり雫の落ちたなら鈴にもなれるからだ、わたしの

枝豆 みどり @edaname_midori

ハナミズキ

紫陽花が一雨ごとにふくらんで水玉模様になじむ境内
いろはすの水平線のゆらめきにあわせてひかるきみの喉元
きみは水きみは太陽こんなにも育ってしまった私の地下茎
自称「晴れ男」のきみが旅立って街ごと泣きだすみたいに夕立
笹舟のようなバスタブ沈むことも泣くこともできず夜に漂う
好きだって言えばよかったハナミズキ空を見ながら雨に打たれる

小仲 翠太 @OnakaSuTanka

いいえ、あお

朝焼けの海へ行こうか安静にしてもころが痛いならば
潮鳴りのような鼓動を聴くきみの胸の水平線の異国に
アイラブユーきみに告げててもよいような午後逆光の海がはにかむ
手からふとこぼれた小さきその愛は二月の海の底にあるかも
チョコレートドーナツとホットコーヒーと海に生かされてる冬一日
ヒヤシンスのあはれは紫いいえあお雨をなみだの比喩にしないで

小野 小乃々 @aurora_konono

雨鬱々

私へと冷たくあたるんじゃないなくて背中を押してほしいんだ、雨
倚りかかる窓がつめたい雨だれが墮ちる軌跡を指でなぞった
この雨を、まだ飲みたいと思えない。君の涙の味を知ってる
水だから消えるはずでしょ。落とすたび涙がシミになって残った
いつかやむこの雨がもう永遠にやまなくていい、そうも思える
濡れた髪を乾かす風に憂鬱な思いも飛んでしまわないかな

歌島 孟 @sinn1990

完璧な雨

右側のまつ毛をふるり震わせて湿度の高い空気の流れ
いきものの死を思わせるにおいしてみどりの雨は細やかに降る
雨の日の少し汚れたスニーカーのつま先ひやり輝いている
街路樹もわたしも花壇の花々も待ちわびていた完璧な雨
わたくしの墓標かもしれない公園の白いベンチはさぶぬれている
こんな日のために買った新品のタオルは涙を吸ってくれない

薄荷。 @aie0himeco

生活は水で出来ている

ピーナッツバターサンドの色をした幸せかじる雨音の中
祝福の『祝う』が嫌い 押し寄せる波めいて勝手に祝わないで
なまぬるい水道水を飲み干して安全すぎる日々乾杯
抱き合つてのぞきこんだら海がある いつだって新鮮にあかるく
結露した窓に触ればしんと濡れるてのひらまだ生きている
螺旋階段雨音に導かれふたりは深く眠る おやすみ

原 沙良葉

希望

耳鳴りのようにうるさい記憶から消えない流星群の残像
暗闇に鯨の声を探すとき吐き出すほうが長くなる息
曇天の曇の部分にひとすじの光が差せば希望だろうか
青空の言葉話す少年と少女は踊る、紫陽花の道
身のうちに焔をひとつ飼っており風を絶やさぬように歩いた
耳鳴りのような静けさ雨を待つところの空白はそのまま

かつういす @v_vTitu

水底のジギタリス

在りし日の 出会いは遠き ジギタリス 愛でて水撒く 恩師の宝
水面月 佯しき我は 眩み惑う 崩れすくえぬ この浅ましき
滴りし 髪に誘われ 触れたけり 待つは悪魔か 見に参ろうか
善悪の 彼岸に君は 佇みて 越えてきなよと 甘く袖引く
水鏡 映るは誰ぞ 己が影 魔性の色に 染まるを恐れ
零れ水 愛しき雪溪 しのぶ頃 忘れ形見に 過ちを知る

裨 左右 @AuvbItgZR88sm

勿忘草

清流が心にせせらぐかの様にあなたの横で穏やかに春
生き方の違う体を寄せ合つて夕立の傘 生活へ帰る
安寧は静かに崩れ落ちてゆく ペトリコールが鼻を掠める
心音は風いで静寂 止めどなく溢れる雫は終わりを知らず
儚いと言葉にすれば軽くなる あなたの最期に降る涙雨
Forget me not 風に吹かれて散りゆくあなた ビリジアン海

稗田 白湯 @_sa_you_tanka_

音のなる水

宇宙にも国境があり飲水も国籍がある 歌にはない
陰口の波が寄せればダイビング珊瑚の上でクラゲとダンス
キラキラな短歌を池へ投げ込む「ダブンダブン」と同意する池
ギタリストは雨乞いをする一人でも傘を差したら拍手が響く
氷に入るホワイトノイズ溶かしたら赤子泣き止む夏の夜
加湿器の音が聞こえる深い夜 湿ったきみをルージュでなでた

非常口ドット @hiyounguchi_dot

ひとり、海の底

なにもかも洗い流してはくってひとりイルカのショー最前席
拍手なら自然とできる可愛いかなうでないかは分からないけど
仄暗い大水槽がゆらめいて写真に残したくはなかった

銀色のクラゲが空へ駆けてゆくようなダイバーの二酸化炭素
目を閉じてこぼこ息 海底で微睡んでとおくひかりに触れる
トビエイを真似てぐおんと腕を振りいつもの倍の歩幅で帰る

菜々瀬 小く @nanasefuku57577

毒の横画

月曜の朝の国道前に行くタンクローリー「毒」を掲げる
「苛性ソーダ」「医薬用外劇物」と記されている「毒」と並んで
水ではない薬ではない繰り返し取り消すような毒の横画
非金属のタンクローリーに追い越される積載物に塩酸とある
液体を運んでいるなら走行の擬音に「ちゃぶん」を当ててもいいか
塩酸が苛性ソーダがちゃぶんちゃぶん運ばれてゆく月曜の朝

榎原もか @kiharaeko

水路の桜

川音はラヴェルの調べ僕たちははしぶきみたいに抱きしめ合った
言の葉は水辺のホタルこんな日の台詞も滲んだ黄の明滅
南禅寺から哲学の道は雪 きみとのことは疎水のかなた
花散らしの雨なら雨で桜色の雨に濡れよう一人濡れよう
幸せを見つけてあなたの幸せをただ生きて欲し水路の桜
飲み干してペットボトルを折り潰し私は水であることを思う

神洲橋 @kamisubash33489

寒天ゼリー

きみどりの目覚まし時計梅雨入りの雲気を裂いてこっちこっちと
転職をするたびに悔いが重なりごろごろしてる寝返り地蔵
朝食は寒天ゼリー曇天を気にしつつ自転車を表に
スルー力鍛錬されて悪意にも「はい」と返せる撥水力に
セリアにはリュックと靴に特化したビニールカバーあって即買い
返信が来ないのも返信のうち夜勤の終わりに雨が上がる

涸れ井戸 @kaionijoe

ダーウィンじゃない奴が来た！

軽で来た。宮崎に来了。ペンギンに会うため九十分かけて来た。
イルカ！ 水しぶきーをあたしたち、太陽みたい！なんて笑って、
ウミガメに魚をあげる。乙姫も童宮城で待っていてくれ

ハメルンのペンギンのあとをついていくことも、こども、こども、こども
志布志湾はきょう何回の鐘の音とお願いごとを聞いたのだろう
ペンギンのひなたぼつこはいえんにいえんにみてるね、ジューン

西淳子 @jacky244Ray

傾ければこぼれる地球

泣き切った後は飲みたい天然水 歩く 私は循環している
故郷では命の代わりに置かれたペットボトルがきらきらしている
ペランダで何かの水が垂れていて部屋の外には時間があった
湖に浮く輝きのいくつかが何かを強く主張している
ぼやけ出すからだをはっきりさせようとプールの水をちよくちよく触る
溜まる洗濯物は海に戻した さあおいで、砂漠を知る猫よ

パイン井 @pine_l_i

滴る断章

夜の雨 全て遮る 水の壁 まわり見渡し 水たまり飛ぶ
頭ふく 下着姿で お湯沸かす スマホ流し見 カップメン伸び
横になる 過ぎゆく今に 何もなく 小さな画面 忘れる映画
眠るまで 今日の出来事 遡る 昨日と同じ 小さな自分
眠れずに 理想の中に 溺れてく 過去の今とは 今はお別れ
晴れた朝 昨日の雨は 水たまり 道路濡らして 忘れないでよ

桔梗 @8GtoB0WvIG41128

水無月に待つ

それぞれのメアリ・ポピンズを待ち侘びて行き交う傘の群れを見ている
はい、アクアライト 混み合う車内にてひみつ道具のような声する
駅員に拾われるまで雨空へきつと穏やかに唄うイヤホン
さみしさと見紛ういつしか雨粒に歪むきみとのトーク画面を
アパートの廊下が長いず濡れに文句ばかりの靴なだめつつ
閉めきればやさしい水無月ガーベラは逢瀬のように窓際に居る

北谷雪 @kitaya_misomisio

みずのわ

ぬるい水わずかに残す透明のペットボトルにのりうつる午後
かわしあう言葉は水の輪をつくりやがて静まるまでが恋です
ほのぼのと夏の近づく月の夜の水を含んだ匂いって好き
夜半過ぎシャワーヘッドを恋人と同じ高さだったなあと見上げる
読み上げる詩と詩の浅い息継ぎに揺れて水平線はかがやく
飲みきったサイダーがまだ恋しくてガラスコップに注ぐ青空

橘 高なつめ @cocoanutkiko

熱交換器

水張ったバケツに私みはられて花火の熱を信じきれない
6割は水分という人間の残りの部分で心臓は鳴る
不意に降る雨を遮る傘がなくペトリコールに散らされる熱
水滴が膨らんでいき重たげにぴちゅんと波を広げて沈む
この海がたとえ小さく砕けてもそれも海だと言ってください
ぐしゅぐしゅの手のひらきみに差し出して溶け合うことを願う体温

木ノ宮むじな @rebelxduck

水の星

退化した悲と羽根置きぬみずうみの水鏡すべる白鳥の黙
水の星に音無くボワントたてながらあのこはいまもグランジュッテ跳ぶ
マラーの〈アダージェット〉貝殻の悲しい気持ち聴いている螺鈿
シーツの海に泳げばきみのつんとしたからだたしかにわたしにあった
忘れるのはわるいことじゃない船はまだ帰ってこれず埠頭にも雪
のどぼとけ壺に入るまでまなうらに夢を飼うなり水の星にて

橘 まゆ

クロール

黒々と舗装道路は濡れていて空にも泣かれながら駅まで
馬鹿みたいな大人（しってる）辿り着く場所も見ないで溺れてるだけ
元氣だしわたしはぜんぜん元氣だしシャワーに打たれたまま笑えるし
沈まないように大きなクロールでなるべく早くきみを離れる
これでもう最後だとして喪失を飼い慣らせるか 水を飲み干す
大雨の日だから傘をさしにくい 今はなんにも聞こえたくない

千原 ーはぎ @kohagi_tw

A Storm in Heaven

ぬかるみを這っても君に会いに行く覚悟を持てず立ち尽くす夜
ぼつきりと折れてしまったミズバショウ優しい歌は聴かずにいたい
朝露に濡れたつぼみの白き薔薇 君に見せたい景色ばかりだ
奪われてみたいと奪ってしまいたい天秤にかけハイボール飲む
颯爽と歩けず涙隠す傘すべての雨から守っておくれ

「好きです」に「ありがとう」と返す貴方^{あなた}あたしの中には嵐が吹いて

香子 @kyoko_shogi

栈橋

水の春互いの意識少しずつ剥がしあうなら夜にまぎれて
涙腺は閉ざしたままで君に会うティアドロップのイアリングして
栈橋に立たないでこの情景を絵にすることは罪になるから
水銀計でしかきつと測れないそのさざ波のような体温
花冷えを銀のヴェールのように纏い君は小さな舟で去りゆく
零せない涙まで涸れ果てたなら跡に静かな椅子を置きたい

桐野 黎 @Tower11710

人間ドック2025

小水の濁りは見ないことにしてこれで四時間水をのまない
ああその私は細い血管ですいつも右側のを刺すんです
超音波ゼリーぐりぐり肋骨の間ぐりぐりゼリーの温み
バリウムが嫌で呑み込む胃カメラの果てのよだれの量が 量が
なかむらさあんなかむらせえじさああん待ってめんつゆレシピ読み終わるまで
昼ビールぐいと胃の腑へ流し込む小水はもう元氣だろうか

中村 成志 @nakam8

みずとうみ

許された湖はまだ狭すぎて抱かれても人魚にはなれない
海の底まで太陽は手を伸ばし光をくれる、いらないのにな
湖に沈んだ村のポストより吐かれゆく透明な正義が
沈黙にガラスの汗は紺碧でオー！ダーリンの声も吸い込む
水面よりぱしゃり、と音が 境界をつかのま越えて僕は歩く
満月になったクラゲがおやすみを言えば明日の雨は眠れり

夏野 ネコ @natsuneko2000

はじまりのうた

透明になりたいひとがいっせいに飲み込んでゆく噴水のゆめ
シャワーあれから何度呼ばただろう(シャワー(これから何度呼ぶだろう)
雨の日に生まれるのち神様が零した光もきらきら吸って
流し台のドライアイスに祝福を、続いて池の鯉にも拍手を
忘れていいたとえば羊水の中で練習してた前跳びのこと
しつぽを立てよ！ないなら旗を立てよ！いちばん広い海まで進め！

空似ほうろ @hole4throw

ナーバス・ブレイクダウン

梅雨入りの沈黙しだいで渡そうか青春すぎるヘッドフォンを
青空ががらんだとまだ知らぬTシャツ早く乾ききみ来る
嘘つきと言うほどじゃない ふるさともきみもあしたも猫の目天気
三週間連絡がない！高原の湧き水よりも冷たくて草
書き下ろしの遺書に見えたよ切れ切れに続いた梅雨の合間の轍
古傷に触れないように五月雨に優しく濡れて行こう、ねえ自我

たえなかず @suzusuzu2009

シャワー (弱)

思い出を水に流してケセラセラ恋することは苦しむことで
思い出を水に流してケセラセラ恋する気持ち流れてしまえ
思い出を水に流してケセラセラ君も私も流れてしまえ
思い出を水に流してケセラセラ全て流れてまたはじめから
思い出を水に流してケセラセラ恋をしてないことに傷つき
思い出を水に流してケセラセラ君の仕草が未だ溜まりて

久保田 毒虫 @dokumu44

雨音だけが、ぼくを知っている

雨音と ともに目をあけ 窓を見た 水滴の中 ぼくがいくつも
肩濡らし 傘を閉じては 水飛ばし 横目に君の 姿とらえた
傘ごとに こぼした声を 雨が消す 聞こえなくても 君へつぶやく
雨音が ひとりの部屋を 包みこみ だれにも言えぬ ためいきが消ゆ
熱い湯で シャワーを浴びる 仕方なく いつも通りの 日々繰り返し
雨上がり ぬれた地面が 光ってる ふと立ち止まり 君を思った

クラゲノオト @mjwgtmw

海へ行こう

難破船しずかに眠っている浜よ 今もこどもは蟹と遊ぶか
人もない大海原に春は逝き 母よ母よと浜千鳥呼ぶ
はつなつのカフェに人を待つ真昼去年の海の混雑思う
水無月は海に行くには早すぎる 首かすかに振る青い紫陽花
紫陽花に小さな小さな雨蛙 合唱できずに空を見ている
海へ行く一家の大きなバスケット、バナナではないおやつを詰めて

多香子

今日もごきげん。

「泣かないの」言い張るきみの一粒をぼくがずっと隠してあげる
今日もまたやまない雨でるるるる ネットで買った mont-bell の靴
夕立が全部流してくれるからあなたの愛もわたしの愛も
真つ黒な波に喰われる 5年目のエレキギターで命を繋ぐ
AOAOで「わたし、前世はみずくらげだからあなたは真つ赤なえびね」
ぎゅっとして君が好きだと伝えたい ザトウクジラが明日も歌う

たかな @takanaz_21

そういう水

目覚めたら渴ききっていたわたしの身体に通う水路を思う
飲み干したシードルのまだばちと喉をさぐっているうれしさよ
喧騒のなかにあなただを置いてきたような、そういう逃げ水だった
透き通るくらいとはいえない窓の流れる川の蛇行、蛇行の川？
水の降る時期を終えたら会えるひと 燦めきという字の嘘くささ
お風呂の栓ぬけていくのを聞きながらわたしもそこに辿りつきたい

小泉 夜雨 @kozumi_yau

透明に映る

ソーダ水ペットボトルを手渡して「好き」っていったらすぐにふられた
どしゃぶりのわたしに傘を差し出してくれたあなたも泣いていたのに
泳いでも泳いでもまだ追いつけず濃い水色と塩素のかおりが
積み上げた本の高さは違うけどふたりは風呂で一匹になる
凄惨な過去も震える血液も洗ってあげるこっちにおいて
抱き合った足に踵を巻き付けて海へ飛び込み深海旅行

骨盤矯正 @kotubann_k

神代にぐるりと行列つくる夜うしろの人の傘のつゆ先
江戸時代から続く品種もございます並び待つ横の花菖蒲展
「ななさいのおこさま事務所でおあずかり」世界いちこわくない迷子では
サボテンもボトスもモンスも偉大なり夜の大温室ぐるぐると
蓮池の天上の如き花々の奥におわします臭う女王は
燭台の名をもつ花のろうそくの部分は「付属体」……ふぞく？

今 哀 子 @3156AKO

水のまにまに

目隠しで甘い言葉は飲み干してさしすせソーダだいikirいすき
雨雨雨 ねてもさめても浮遊感 みずいろの国さかなになって
青波と君の手首の静脈がリンクしていく まだ 行か ない で
浴室で雨傘をさす 臆病な僕はほんとに溺れたかった
水槽のきらめき抱いた日々でした ネイルシールに転写していく
() と雨がふります () と あなたの雨は心の予報

サ 行 @Ns4HpKEZA10870

昊

もし陸が将来海に沈んでも干上がるよりはマシだと思っ
湯船には涙の海が溜まってアヒルが僕の方舟になる
瞳から流れた水は大海に吞まれて区別がつかなくなった
雨上がり油が滲む水溜まりを覗かなくてもすむようになった
「辛いね」と言いながら水を2杯飲む 4個の餃子は2個ずつ分ける
急に来た夕立君が入りこむ折りたたみ傘が狭くて嬉しい

澤 山 凜 @utaphobia_rin

ばくらの海

15秒 絡めた指と手のひらの何も無かった境界に汗
柔らかな皮膚のしたには海があり抱き合えばほら、胸が波打つ
眼球が揺れて膨らみ珠になり転がるまでがやけに遅くて
飲みかけのポカリスエット、浸透を許す君にも怒りが沸いた
頭から食べられている鯛焼きの一匹になり受け入れるキス
体温を混ぜてもばくら別々でそれぞれ違う海と知ってた

た ん そ @Kani_Hitsuji

目黒川

逃げ水を追いかつての溜まりまで渋谷駅から乗りかえてゆく
川沿いのマルシェを過ぎる昼下がりが若者たちの流行りを覗く
カプチーノ文化にわたしを浸らせてスターバックス ビルになりたり
今ならば憩える桜並木道 薫ることなき浪人時代
浮き草のように住みにし1DK目黒川から路地に入れば
マンションは更地になりて十代の二年の時ふたび眠る

桜 ギ ム @wjs9f8NwfuJvq3

炭酸水のような雨音

すわすわと相合傘の邪魔をする炭酸水のような雨音
甘かった間接キスのソーダ水スモモのようなライチのような
最後まであなたが好きな硬水を好きになれずに瓶だけが居る
あの夏の水道水の美味しさを不思議と忘れられないでいる
夕立と一体になる苦しみや悲しみすべて流れてしまえ
雨の日のカフェであなたを待つ午後は時の流れが少し柔らか

サ ク ラ ユ ニ ノ @mtf_sakura

かたどろ

液体の相にあるから割れなくて同じ形になれないだろう
さかさまの傘が空気を貯めていて粒のすべてを押し出してゆく
海流を辿る群れからはじかれて観測されないラバー・ダック
この水は三日前まで海だった 水面のかたちを作りぬ、今も
空き缶のジュースの残り湿地帯探検隊らは水をけとばす
いまここに足がついてはならぬようにいたるところにあるべき幻洋

S a n d P a w n s @alen_jres

鎖骨

はつ夏の陽に象られぼくたちと給水塔の影が交わる
水たまりの王として浮くあめんぼは囁んでも甘くはない、って聞いた
また雨の気配を帯びた雲が来てゆっくり醒めてゆく街はずれ
先生が替わった朝も誰だかが水をあげた青い花瓶へ
用水路に群れる幼い麦穂魚たち 誰にも忘れられない帰路が
あのひとの鎖骨を思い出しながら水道水に米をさらした

西 鎮 @xi_zhen_jvut